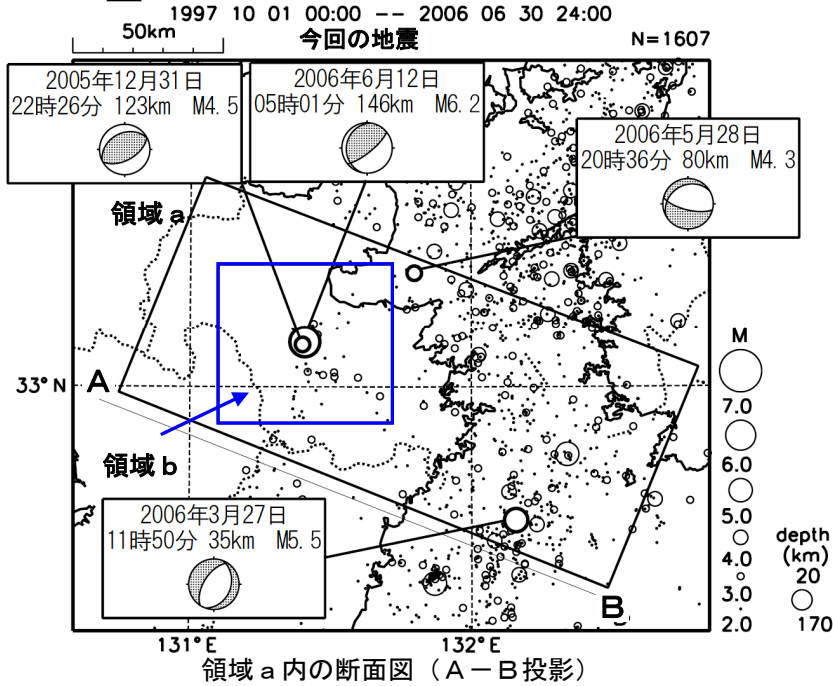


6月12日 大分県中部の地震

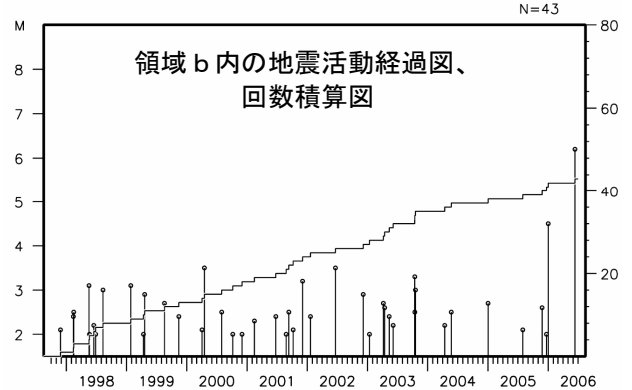
A 震央分布図 (1997年10月以降、 $M \geq 2.0$ 、深さ20~170km)



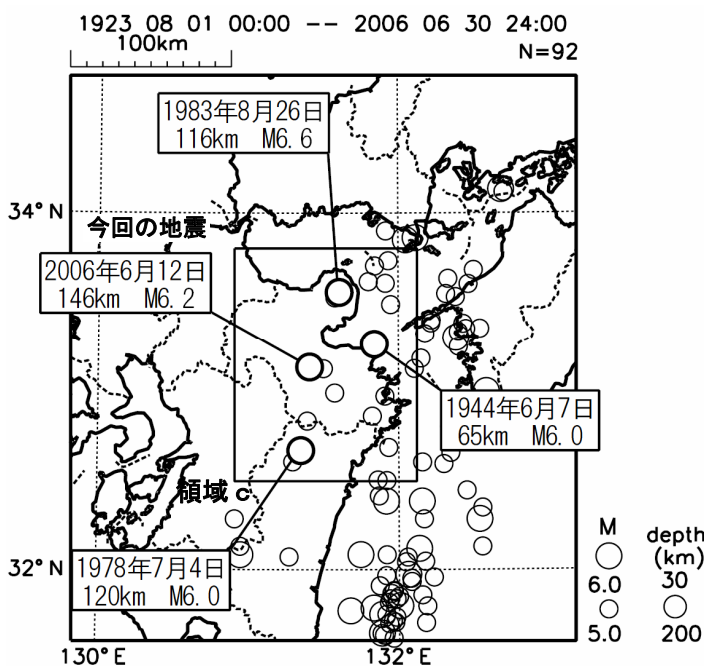
6月12日05時01分に大分県中部の深さ146kmでM6.2(最大震度5弱)の地震が発生した。発震機構は沈み込む方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部のやや深い場所で発生した地震である。余震活動は地震発生直後にM1クラスが4回観測されているのみである。今回の地震の震央付近では深さ90~130kmの範囲でM3~4程度の地震活動が時々見られるが、今回の地震はこの活動部分よりもやや深い場所で発生しており、この部分ではM6.0を超えるような地震はこれまで観測されていない。

この地震の南東側のフィリピン海プレートの浅い側では、2006年3月27日にM5.5の地震(最大震度5弱)が発生している。(A)

1997 10 01 00:00 -- 2006 06 30 24:00



B 震央分布図 (1923年8月以降、 $M \geq 5.0$ 、深さ30~200km)



1923年8月以降の活動をみると、今回の地震が発生した周辺のフィリピン海プレート内部ではM5.0を超える地震が数年に1回程度の割合で発生しているが、1983年8月26日のM6.6(最大震度4)以降、M6.0以上の地震は観測されていなかった。(B)

1923 08 01 00:00 -- 2006 06 30 24:00

